

2019 年度
マンスリーレポート No. 51

6月2日 山田が第137回 西日本整形・災害外科学会学術集会(福岡市)で「脊椎5」の座長を担当した。

6月3日、OSCE 部会が開催され、「PCC-OSCE の模擬患者について」と「模擬患者募集」(ポスター)を提出し、試験に必要な模擬患者を学内職員に広く募ることが決まった。

6月5日、PCCE 部会が開催され、今年度の基本的臨床技能訓練(7コース)もトレセンで施行することが決まり、裏プログラムとして症候病態系臨床推論(7コース)を考えた。

6月6日～10日、チームKの実務班が根拠資料の収集と整理に取り組んでおり、安達が石竹教授と領域1～領域9の本文をチェックしながら、追加・削除・決定を行った。

6月6日、山田が脊柱靭帯骨化症(難治性疾患)の患者と家族を対象にした講演会・交流会(10月15日)について、野田氏(南筑後保健福祉環境事務所)と打合せを行った。

6月10日、教務委員会が開催され、医学教育分野別評価自己点検評価報告書(最終版)が提出され、承認された。柏木がMoodleによる教育 e-learning(電子FD)の結果を説明し、山田がPCC-OSCE 模擬患者の資格・現状・募集の説明を補足した。

6月12日、教務委員会が開催され、医学教育分野別評価自己点検評価報告書(最終版)が提出・承認され、PCCE-OSCE 模擬患者募集ポスターも承認された。柏木が大隅良典博士の特別講演(7月8日、筑水会館)の学内ライブ中継の送信・受信チェックを行った。

6月13日、模擬患者募集ポスターを全講座/部署(大学病院を含む)に配布した(160枚)。初日だけで19人の申し込みが教務課に届き、6月末の〆切で応募総数63人になった。

6月17日、教育評価委員会が開催され、出張FD(7月から全講座)の配布資料、教育評価ワークショップ(8月31日)の日程表、実地調査(面談や見学)の担当者が決まった。

6月20日、実務班が行った根拠資料(3桁番号)の収集と整理が一段落し(合計50時間)、報告書(電子版)の提出(7/8)に向けてフォーマットへの貼り付け作業に入った。

6月21日、山田が筑後臨床整形外科医会学術講演会で「脊椎疾患の神経障害性疼痛：病態の解釈と新たなアプローチ」を講演した。

6月24日、安達がJACMEの定時社員総会に出席した(東京)。次期役員/委員・評価基準一部改正・2018年度事業報告・2019年度事業計画・機関別/分野別評価が審議された。

6月25日、PCC-OSCE 学内模擬患者について、山田が津留崎さん(SP会)・有永講師(OSCE部会)と協議し、オリエンテーション・課題打合せ・事前練習の日程と内容を決めた。

6月27日～28日、久留米大学病院指導医講習会が開催され(北九州市)、安達がチーフタスクフォースとして研修評価を担当し、来年度から導入されるルーブリックを紹介した。

6月27日、山田がPCCE 部会員3人(4年生)と協議し、PCCE(12月上旬)に対する4年生の要望や意見を収集してプログラムに反映することを決めた。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

6月1日、呼吸勉強会・フィジカルアセスメント(病棟看護師)*

6月2日、院内認定看護師研修・クリティカルケア(看護部)*

6月4日、VAD 勉強会(病棟看護師)*VAD ventricular assist device 補助人工心臓

6月6日、勉強会・教育用ビデオ撮影(病棟看護師)

6月8日、院内認定看護師研修・クリティカルケア(看護部)*

6月10日、大学院修士課程実習・フィジカルアセスメント(大学院看護学専攻)

6月14日、シミュレーターによる導尿実習 OJT(病棟看護師)

- 6月15日、ファミリーキッズセミナー（外科学講座）＊
- 6月15日、救急蘇生勉強会・演習（医学部救急サークル）＊
- 6月17日、救急蘇生訓練（病棟看護師）
- 6月20日、認定看護師教育課程実習授業（認定看護師教育センター）
- 6月20日、導尿(指導者)勉強会・シミュレーターによる実習（看護部）
- 6月23日、看護師自己啓発セミナー（救急看護認定看護師）＊
- 6月25日、院内認定看護師研修・クリティカルケア（看護部）
- 6月5日、12日、17日、25日、一次救命処置講習会（救急蘇生小委員会）

＊は土曜・日曜・祝日の開催

文責：安達洋祐